

# いちよし 公開ベンチャー・ファンド

追加型投信／国内／株式

信託期間を従来の2020年11月27日から2027年11月29日へ延長しました。

作成対象期間：2019年11月30日～2020年11月30日

第 20 期 決算日：2020年11月30日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、わが国の金融商品取引所に上場されている中小企業の中から、企業の成長性が高く、かつ株価水準が割安であると判断される銘柄を中心に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第20期末 (2020年11月30日)

基準価額	32,141円
純資産総額	1,313百万円
騰落率	+11.3%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	100円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

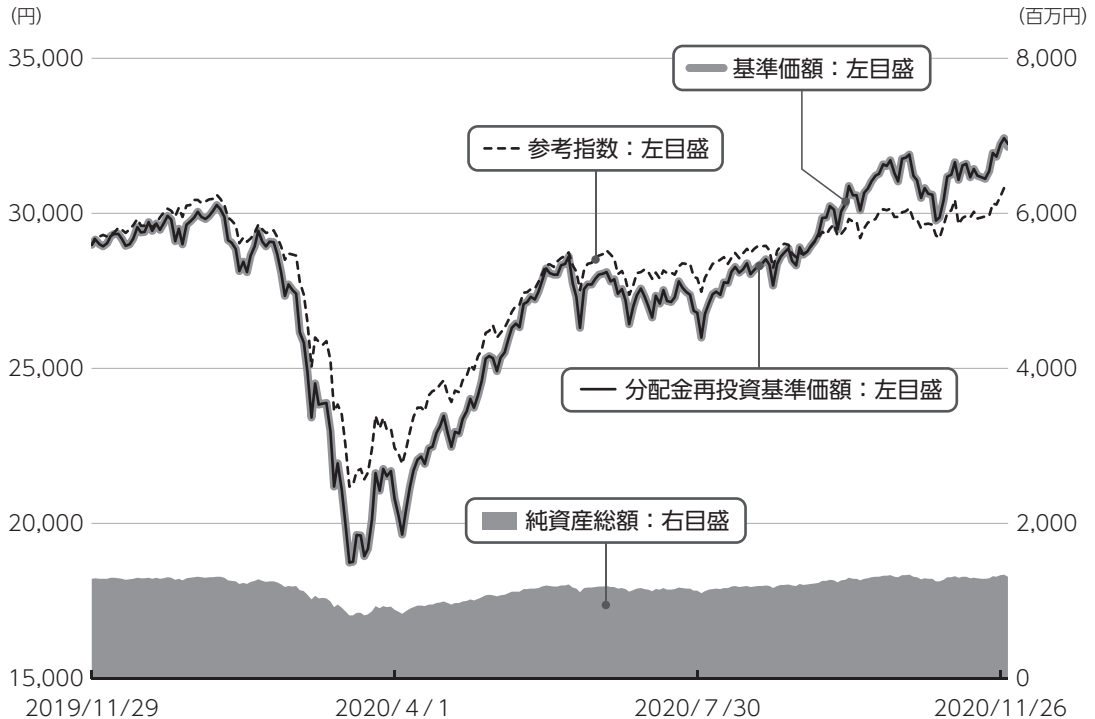
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第20期：2019年11月30日～2020年11月30日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第20期首	28,977円
第20期末	32,141円
既払分配金	100円
騰落率	11.3%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

新型コロナウイルス対策として世界各国が積極的な金融政策や財政政策を実施し、国内株式市況が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大などから国内株式市況が一時的に下落したことなどが一時的な基準価額の下落要因となりました。

## 銘柄要因

上位5銘柄・・・メドピア、エル・ティー・エス、ギフトィ、バリュエンスホールディングス、アバールデータ

下位5銘柄・・・DDホールディングス、じげん、シュッピン、東祥、スミダコーポレーション

※参考指数は、JASDAQ INDEXです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2019年11月30日～2020年11月30日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	516	1.873	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(273)	(0.992)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(212)	(0.771)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 30)	(0.110)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	22	0.082	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 22)	(0.082)	
(c) その他費用	1	0.004	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	539	1.959	

期中の平均基準価額は、27,526円です。

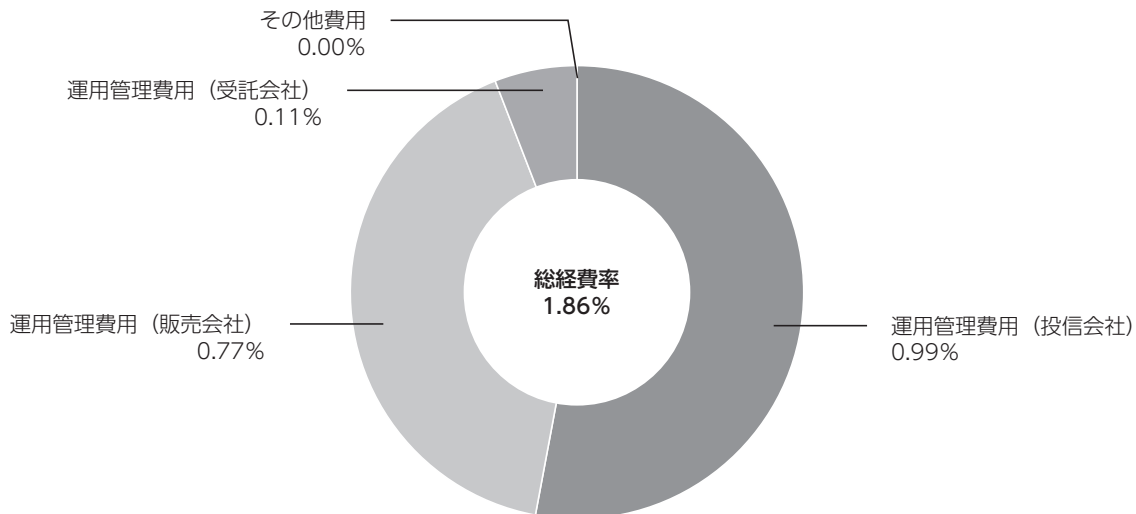
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.86%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2015年11月30日～2020年11月30日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2015年11月30日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2015/11/30 期初	2016/11/29 決算日	2017/11/29 決算日	2018/11/29 決算日	2019/11/29 決算日	2020/11/30 決算日
基準価額 (円)	17,076	19,620	30,274	27,880	28,977	32,141
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	15.5	54.8	-7.6	4.3	11.3
参考指数騰落率 (%)	—	2.8	44.9	-9.4	7.2	6.1
純資産総額 (百万円)	1,434	1,348	1,782	1,500	1,285	1,313

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、JASDAQ INDEXです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第20期：2019年11月30日～2020年11月30日

## 投資環境について

### ▶ 国内株式市況

#### 国内株式市況は上昇しました。

期首から2020年1月までは一進一退で推移していましたが、その後、年初に中国で感染拡大が確認された新型コロナウイルスが欧米へ広がったことから世界的景気への悪影響が懸念され急激かつ大幅に下落しました。

3月下旬から6月上旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に対して各国

が積極的な金融政策や財政政策を打ち出したことなどが好感され、国内株式市況は上昇しました。

6月中旬から8月にかけて小康状態が続きましたが、各国の経済活動が徐々に回復する兆しを確認できたことやワクチン開発への期待の高まりなどもあって、来期以降の業績回復期待などを背景に9月から期末まで、国内株式市況は一段と上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ いちよし 公開ベンチャー・ファンド

いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド受益証券を通じて、わが国の株式に投資しています。株式の実質組入比率は高位を維持しました。

### ▶ いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド

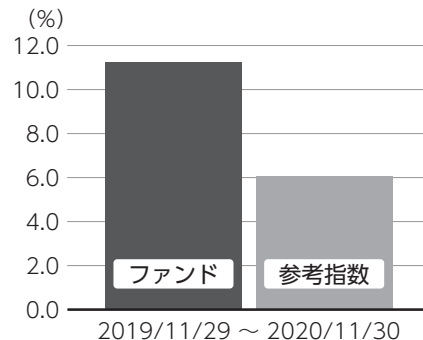
組入銘柄数は概ね67～73銘柄程度で推移させました。株価水準やファンダメンタルズの変化、新規投資候補銘柄との相対

比較等を勘案し、適宜入れ替えを行いました。期首、期末の比較では、医師向け情報サイトを運営するメドピアや自社開発ERP（統合基幹業務）ソフトを提供し、マーケティング支援も手掛けるオロなど22銘柄を新規に組み入れました。一方、飲食店運営のDDホールディングスやセラミック部品を主力とするMARUWAなど24銘柄を全株売却しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数はJASDAQ INDEXです。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、信託財産の中長期的な成長をはかるといふ当ファンドの目的等を総合的に勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第20期
	2019年11月30日～2020年11月30日
当期分配金（対基準価額比率）	100 (0.310%)
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	22,140

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ いちよし 公開ベンチャー・ファンド

今後も、いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

### ▶ いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド

上場企業のうち、ファンダメンタルズ（財務状況の基礎的条件）が良好で高い成長力を有し、近い将来において飛躍期を迎える可能性が高いと判断され、次のステージでのビジネスモデル、ビジネスプランが明確であると判断される企業を「公開ベンチャー」と位置付け、これらの企業を中心に投資を行います。運用にあたっては中小型株に特化した、いちよ

しアセットマネジメント株式会社の運用アドバイスを受けた、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を行います。

中小型成長株を取り巻く環境を注意深く見極めながら、個別企業への調査等により、株価の割安感が強まっていると判断される優良な中小型成長株への注目度を高めていくとともに、ファンダメンタルズ以上に株価上昇がみられる銘柄及び短期間で株価が大幅に上昇したと判断される銘柄については、利益確定の売却や組入比率の調整などを行い、比較的株価が割安水準にあって成長期待の大きい中小型成長銘柄への入れ替えを継続することでパフォーマンスの向上に努めていく方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・信託期間を従来の2020年11月27日から2027年11月29日へ延長し、信託約款に所要の変更を行いました。(2020年2月29日)

## ▶ その他

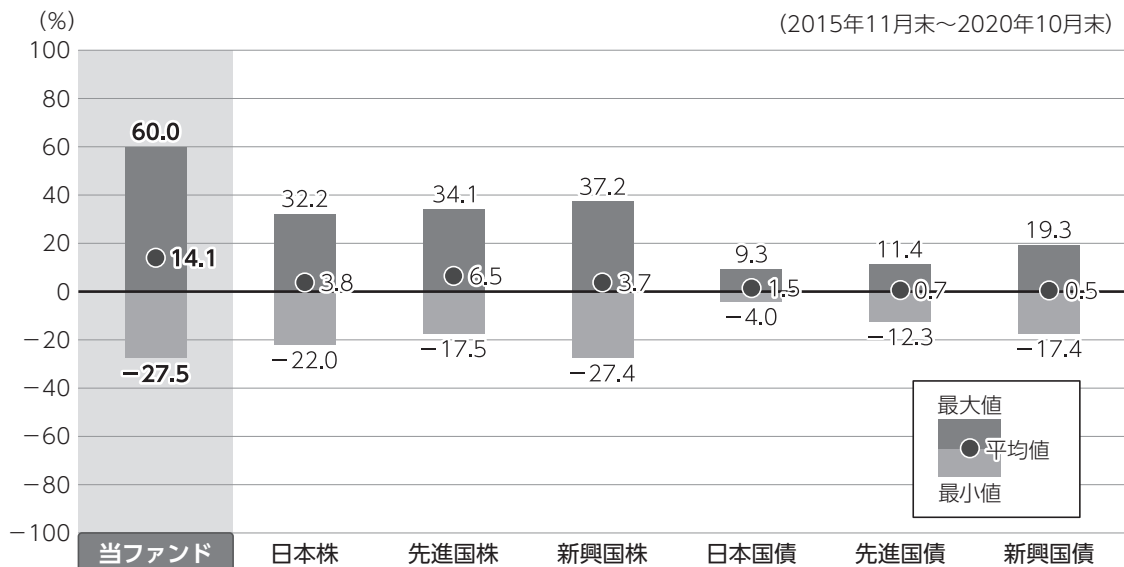
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2027年11月29日〔当初、2020年11月27日〕まで（2000年11月30日設定）
運用方針	わが国の株式に投資することにより信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド受益証券</p> <p>■いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド わが国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式</p>
運用方法	わが国の金融商品取引所に上場されている中小型株式（新興市場で取引されている株式を含みます。）の中から、企業の成長性が高く、かつ株価水準が割安であると判断される銘柄を中心に投資します。 ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を行い、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	毎年11月29日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、信託財産の中長期的な成長をはかるといふ当ファンドの目的等を総合的に勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2015年11月から2020年10月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2020年11月30日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第20期末 2020年11月30日
いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド	99.9%

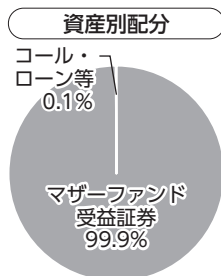
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

### 純資産等

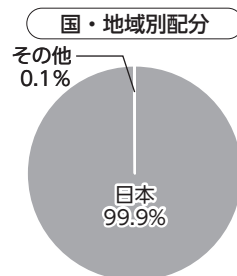
項目	第20期末 2020年11月30日
純資産総額 (円)	1,313,100,434
受益権口数 (口)	408,545,184
1 万口当たり基準価額 (円)	32,141

※当期中において追加設定元本は7,888,500円  
同解約元本は 42,948,065円です。

### 種別構成等

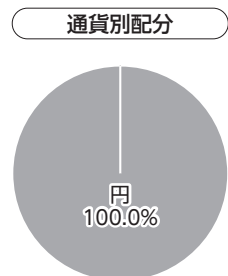


※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。



291406

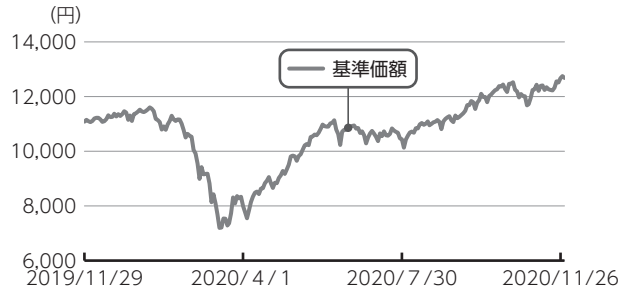
2020年11月30日現在

## 組入上位ファンドの概要

## いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド

## 基準価額の推移

2019年11月29日～2020年11月30日



## 1万口当たりの費用明細

2019年11月30日～2020年11月30日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 ( 株 式 )	9 (9)	0.082 (0.082)
合計	9	0.082

期中の平均基準価額は、10,680円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

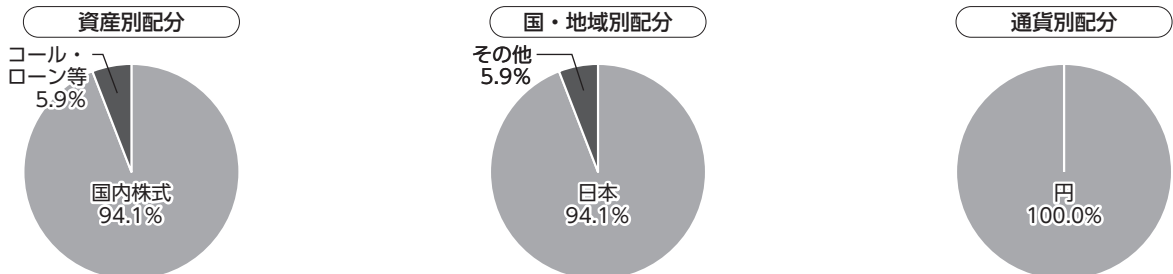
(組入銘柄数：67銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	NITTOKU	株式	日本	機械	3.7
2	アニコム ホールディングス	株式	日本	保険業	2.7
3	メドピア	株式	日本	サービス業	2.4
4	アパールデータ	株式	日本	電気機器	2.4
5	ピックルスコーポレーション	株式	日本	食料品	2.3
6	オロ	株式	日本	情報・通信業	2.2
7	あすか製薬	株式	日本	医薬品	2.1
8	日本エム・ディ・エム	株式	日本	精密機器	2.1
9	C a s a	株式	日本	その他金融業	2.1
10	タケエイ	株式	日本	サービス業	2.0

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

## 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『JASDAQ INDEX』について

JASDAQ INDEXとは、JASDAQ上場の内国株券全銘柄を対象として時価総額加重平均方式に基づき算出される株価指数です。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信